

ホームページ用情報公開文書

研究課題：小児白血病患児におけるステロイド内服中の精神症状の現状

1. 研究の目的

急性リンパ性白血病（以下 ALL）に関するステロイドの副作用における患児の精神症状の出現時期と、時間的経過による変化を明らかにする。

2. 研究の方法

1) 対象：2016年1月～2017年12月にB病院に入院し、ALLで寛解導入療法・再寛解導入療法にてステロイド内服治療をしていた児。（再発・移植をしている児、白血病以外の基礎疾患を合併している児を除く）

2) データの収集方法

研究デザイン：電子カルテデータを用いた後方視的研究

方法：①倫理審査通過後に電子カルテから2016.1～2017.12のALL患児を調べる。

②電子カルテの看護記録より患者の年齢、日付、ステロイドの薬量、患者の感情、患者の行動、言動、親の様子について情報収集用紙を用いて、情報を収集する。

③情報収集用紙は回答をMicrosoft excelにて「1」入力し自動計算する。

3. 研究期間

2018年10月～2018年12月

4. 研究に用いる資料・情報の種類

1) 西川和裕:治療増刊号,86,p.603-604,2004.

2) 木浪智佳子・三国久美・萬美奈子:小児がんの子どもをもつ母親の心理的状況に関する文献検討,北海道医療大学看護福祉学部紀要,17,p.53-59,2010.

3) 富澤弥生:子どもの白血病治療における母親の気分の変化と看護の検討,東北大学医療技術短期大学部看護学科,12,p.151-161,2003.

4) 岩田友美・林久美・山本陽子,他:急性リンパ性白血病の寛解導入療法中に抑うつ症状を呈した児への看護,山口大学医学部附属病院看護部研究論文集,85,p.11-15,2010.

5) 渡邊詩穂美・西原静香・白坂真紀,他:化学療法を受ける子どもと家族への内服に関する援助,滋賀医科大学看護学ジャーナル,10(1),p.52-56,2012.

6) 川勝和子・榎木野裕美:病棟看護師が認識する幼児期に小児白血病を発症した子どもの母親が抱く退院後の不安への対応,71(2),p.235-241,2012.

7) 杉野健志郎・前田貴彦・臼井徳子:幼児期の小児がん患児に付き添う母親が父親に抱く思い,14,p.33-39,2010.

8) 梅田英子・藤村まゆみ・山口佐代子,他:小児がんで入院中の子どもを持つ両親の心理状態とコーピングの特徴,大阪大学看護雑誌,11(1),p.11-17,2005.

9) 厚生労働省:重篤副作用疾患別対応マニュアル-薬剤惹起性うつ病-,p.1-17,2008.

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表
外部への資料・情報提供の予定はなし
研究成果は、2019年3月の病院内研究発表会にて発表予定
2019年内に院外学会発表を予定している
6. 研究組織
埼玉県立小児医療センター 10B 病棟
7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先
埼玉県立小児医療センター
10B 病棟 (代表 048-601-2200)